

備北・センター だより

発行所
 三次市十日市東三丁目 14-1
 三次市福祉保健センター1F
 一般社団法人備北地域生活支援協会
**備北障害者就業・
 生活支援センター**
 TEL. (0824)-63-1896
 発行人：谷口光治



NS ウエスト株式会社庄原本社工場全景

職場拝見

経営理念

お客様に感動と安心を提供し、社員の幸せの実現と地域社会の繁栄に貢献する企業。

今回は、一九八二年に設立され二〇一〇年に「株式会社ワイエヌエス」から社名変更された「NSウエスト株式会社」に伺い、経営管理部の玉利マネージャーにお話を聞きました。

・まずは、NSウエストの会社概要からお聞かせください。
 NSウエスト(株)は自動車用情報装置、及び関連システムの研究・開発・生産・販売を一貫して行う企業です。
 庄原市新庄町に庄原本社・工場、広島市に広島本社(開発・営業)を置き四〇九名の従業員と一三四名の派遣社員が働いています。

わが社の特徴は、社員が高いロイヤルティを持ち、チーム一丸となった活動を展開できることであり、さらに、自前の成形・印刷・塗装・基板実装・組立技術により、品質・コスト・納期を高い次元で結実させた「ものづくり」ができることです。

・自動車用情報装置とは具体的にどんな物ですか。また、取引先はどのようなところですか。

自動車用情報装置とは、自動車用のメーターセット、ディスプレイなどで、新規開発し、新型アクセラより搭載したコンパインタイプヘッドアップディスプレイは好評です。主な納入先はマツダ様、ダイハツ様です。

・障害者の雇用を考えたとき、どんな

とだったのでしょうか。

最初意識はせずに一般雇用者の中に障害のある方もおられました。その後、法定雇用率を達成するためにハローワークの指導もあって現在五名の障害者の方が在籍されています。

・障害のある方を雇用されて何か配慮されていることがあればお聞かせください。
 トイレは多目的トイレとなっています。バリアフリー化はこれからとなります。

聴覚障害の方が二名おられますが、現場での指



ヘッドアップディスプレイ付メーターセット

示は筆談で簡潔に解りやすく指示するよう心がけています。

・これからも障害者雇用を継続されていくための気付きや要望などあればお聞かせください。

緊急時の安全確保に避難訓練などを実施しますが、障害の程度に応じた方法を検討していかねばと考えています。

障害者雇用では、これまでの経験から実習の制度は労使双方にとってもよい制度だと感じています。今後もさらなる障害者雇用を考えていますので協力お願いいたします。

・大変忙しい中ありがとうございますございました。

私たち

羽ばたいています



面談中の左から、玉利 MG、松井さん、滑さん、竹元さん、蓑岡さん

・竹元さん：ハローワーク登録後センターに相談し、こちらの見学と実習をしてからです。

・現在の職務と仕事上で気をつけていること、大変だったことはありませんか。

・滑さん：入社時は事務を行っていましたが、今は基板の検査工程です。気をつけているところは交代勤務であるので、次の勤務者への引継ぎに洩れがないかなどです。

・竹元さん：LCD組み付け工程です。デリケートな製品ですからゴミによる不良を見逃さないよう気をつけています。

・蓑岡さん：製品を入れる通い箱の清掃です。

ごみや異物の残りの確認や箱を落としたりしないよう気をつけています。



通い箱清掃中の蓑岡さん

・休日等余暇にやっておられることはありますか。

・滑さん：ジムに通ったり、家でのんびりしたり体調管理に心掛けています。

・竹元さん：来年の中四国大会を目標に月2〜3回、広島島の仲間と卓球の練習をしています。

・蓑岡さん：趣味の野球です。でも常会の行事等があり忙しいです。

・玉利マネージャーから皆さんにひとこと。皆さん品質意識が高く集中力を持っておられ戦力になっていきます。これからも体調に気をつけ頑張ってください。

ありがとうございます。



今回は三次市島敷町にあります、特定非営利法人『ともえ三次工房』を訪問し、生活支援員の田村さんにお話を聞きました。



ともえ三次工房正面から

・まず最初に、事業所紹介をお願いします。

特定非営利法人「ともえ三次工房」は、昭和六十一年「病院と家以外の居場所が欲しい」という当事者と家族の声から家族会が母体となって設立しました。以来、日中の活動の場として内職等の軽作業やレクリエーション等を行っています。

仕事は、地域の方や福祉就労の事業所から紹介していただいています。皆さんのおかげで工賃も少しアップしました。
 ・定員と利用者数、スタッフ数は何名ですか。
 利用者の定員は十九名です。現在の登録者は十二名ですが、長期入院や体調不良で休まれる方もおられるので、平均の一日の利用者数七〜八名を二名のスタッフで支援しています。

・活動内容や利用時間はどうなっていますか。



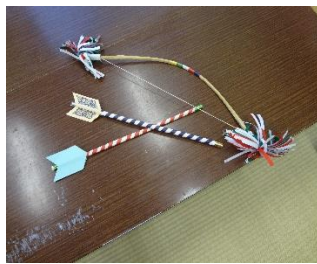
バザーで販売の小物

活動内容は

- ① 自動車部品の組み立て、バリ取り
 - ② 製品の袋詰め作業
 - ③ アルミ缶の回収リサイクル
 - ④ 廃材を利用したもぐらおどしの製作
 - ⑤ 神楽で使う弓と矢の玩具の製作
 - ⑥ 三次や三良坂の福祉まつりのバザーで販売する小物やアクセサリーなどの手芸
- となっております。作業時間は、九時〜十五時で、休日は土曜日、日曜日、祝日です。

・活動をされる中で、工夫されている点はありませんか。
 作業は自分の体調と相談しながら無理のない範囲で、気楽に気軽に過ごしていただけける空間になるよう工夫しています。

十時と十四時にお茶の時間があり、話をしながら和やかに過ごしています。利用される目的も皆さん違うので、スタッフは利用者のクッションの役割になりたいと思っています。



弓と矢の玩具

・そのほか行事はありませんか。
 秋には、バスを貸し切り日帰り旅行、新年会です。

温泉へ行ったり、クリスマス会、家族会との食事会や園芸など行っています。



自動車部品組み付作業

・今後、どのような事業所を目指していますか。
 利用者で長い方は二十

年利用されました。「ともえ三次工房」ではのんびりと気軽に利用してもらえ、一日を大切に過ごしていただくためにも事業を維持できるよう努力していきたいです。利用者の方を募集しています。気軽にお立ち寄りください。
 ・ありがとうございました。

センターの窓

備北障害福祉圏域 障害者就労支援ネット ワークショップ 開催

平成二十七年九月十六日三次市福祉保健センター四階において標記研修会を開催した。

『障害者雇用と人権』をテーマに広島大学大学院の横藤田誠教授から自分の体験に基づく講演があり、続いて広島労働局、広島県障害者支援課、広島県雇用労働政策課、広島障害者職業センターから情報提供があった。後半は、『障害者雇用に取り組んできて』と題し庄原赤十字病院、鮮コーポレーションの事業者とそこで雇用されている当事者によるシンポジウムがあった。

参加者は当事者、家族、企業や行政関係者など90名で、非常に参考になったとの意見がアンケートによせられた。



また、広島労働局の情報提供の中では、改正障害者雇用促進法に基づく「障害者差別禁止指針」と「合理的配慮指針」について資料提供と説明があった。(詳しくは厚生労働省「HP障害者雇用対策」を確認ください。

庄原・三次両市出張相談会について

当センターは平成二十

七年から、三次市、庄原市の各福祉センターでの出張相談会に同行し、相談業務を行っています。障害のある方で就職等に関する相談や就労で困りの方の相談も受け付けています。日時、場所については両市関係機関または、当センターにお問い合わせください。

第二回当事者の集い 開催

平成二十七年十月十九日ラウンジ笑花において「お金のトラブル」についての悩みや心配ごとを出し合い、予防策や解決する手立てを意見交換しながら考えた。

当事者や家族を含め四名の参加があり、意見交流の中で「今後の手立てを考えるきっかけになっ

センター活動実績 平成27年10月20日現在

●就職者数 202件(22年4月から累計)

●企業実習 121件(22年4月から累計)

就職先：食品製造、製造業、福祉施設、林業病院、日用品販売量販店、農業、建設業 etc



た。」などの感想が寄せられた。

編集後記

今年の秋は稲の収穫時期には雨が多く、後半になって思わぬ晴天が続いています。

ここにきて朝晩の冷え込みが強くなって来ましたが、実りの秋が終わりに近づき紅葉の時期となってくるのでしょうか。

皆さんはどこかへおでかけになりましたか？

(中河)

